

迎春デラックス特大号 スクープカラー&お年玉企画満載!

完全保存版 最新版の閨閥図でみる「ニッポンの本当の大金持ち」

プロ野球OB30人に聞いた 大谷・藤浪・菅野・東浜「本当のところ何勝するか」

独占スクープカラー 壇蜜 テレビでは絶対に見られない「剃毛ヌード」

モノクロ 日本一のゴルファー・藤田寛之 / 松平健「勝新太郎の教え」



週刊現代

迎春デラックス号第2弾

迎春スペシャル版 ノーベル賞、スポーツ、ビジネスでこの人たちが世界の頂点に立つ

2013「強いニッポン」を作る 注目の100人

大研究・新ニッポンの富裕層
●金持ちであり続けることに成功した人たち ●カネはあつても、子は育たない」という現実ほか

2013年版 食品・繊維 外食・広告ほか
20年後に生き残る会社 **後藤理沙**

119
Weekly Gendai
2013
January

定価400円

中国になめられる日々はこれで終わるのか
乗り遅れるな「2万円相場」主役はこの株だ
対談 佐藤優×田崎史郎 日本社会はどこへ向かうのか

「安倍バブル」 日経平均2万円へ

わずか半年で天井超え! どんどん上がる



全国民必読 プロ50人はこう見ている

迎春特大デラックス号 お年玉読者プレゼント付き



週現スペシャル
有名スポーツ選手の苦悶と悔恨
「一流選手に求められるのは才能ではなく、心の強さだった」
特別カラー袋とし 開けるまでドキドキ
密かに楽しみみください
梅宮辰夫が2回のがん手術を
執刀医と語り尽くす

NHK大河「八重の桜」を見てフクシマの志を感じよう

壇蜜 剃毛して「無毛」になる瞬間
いま最もカッコいい女優 鈴木砂羽 / プライベート公開 石川さゆり
後藤理沙 全開ヘアヌード

独占カラー4連発

ここまで見せた

「一流かどうかは才能なんかじゃない、心の強さなんです」



自由に手が動くまで4年

思ったし、勇気づけられ、助けられました」
 リレハンメルから4年後、長野で原田が1377mのスーパージャンプを見せ、ドラマチックに、リベンジメダルを獲得したことは周知のとおりだ。
 現在、原田は現役時から所属する雪印メグミルクス

キー部でコーチを務め、後進の指導にあたっている。「ジャンプもゴルフもスラップの原因は同じ。どちらも考えすぎです。フォームの改善を図ろうと、少しずつ変えるうち、やりすぎでしまい、本来のフォームまで崩してしまう。悩めば悩むほど、飛べなくなる」

その典型例が小達敏昭（44歳）だろう。早熟のゴルファーは暗く、長い洞窟に迷い込んだ。

ルの高さに圧倒されたばかりか、つねにギヤラーの視線を集めてしまうので、「綺麗なゴルフをやらなくちゃ」と筋肉が萎縮。動かなくなっていた。失敗が失敗を呼び、どんどん気持ちが重くなっていく。カットが果てしなく遠くにあるように感じました」

「初勝利はプロ入り3年目の93年。25歳のときでした。天然のB型で自己チューな性格なので何も考えずにイケでクラブを振っていたら、ヨネックスオープンで優勝できたんです」

今まで気にも留めなかったギヤラーの野次に傷つけられた。「それ以上に気になったのが同伴競技者の目。『あいつ、アブローチがおかしいよ』と同じプロに知られることが本場に怖かった」

だが、勢いだけの優勝には強烈なしっぺ返しがあった。その年の暮れから深刻なイップスの兆候が出始めたのだ。
 「売り出し中の若手として外国人招待選手と組まれたことが、不調の始まりでした。彼らのプレーのレベ

ないところで日が暮れるまで球を打ち続けた。50球入るカゴを8箱、9箱、10箱。「ふつうはロングショットの練習で腱鞘炎になるのですが、私はアブローチの練習で腱鞘炎になりました。腰痛にもなった。朝の練習もアブローチばかり。ロングショットなんてどうでも良かった。5年近く、そんなことをやっていました」

彼が奈落の底に墜ちずに済んだのは、自分を突き放して、客観的に見る目まで失わなかったからかもしれない。

「4年で学生時代と同じくらい自由自在に手が動くようになり、01年のJCBクラシック仙台で復活Vを勝ち取る頃には、アブローチのバリエーションが8種類ほどに増えていました。実は今、小さな大会に出ています。そろそろ、レギュラーツアーに挑戦しようと思っ

洞窟を抜けるキツカケは07年に訪れた。「知人の社長が手を差し伸べてくれた。米国トッププロ

口のコーチを紹介してくれたのです。自分の知識をすべて捨てて、一から学び直しました」
 過去の蓄積をゼロにする勇気が彼を救った。その年には賞金ランキング30位以内に復活。帰国後はツアープロコーチの内藤雄士氏と契約。アブローチを2種類に絞り込み、完璧に磨き上げる作業に入った。



01年、復活Vを祝う小達一家（上）。来季のツアー復帰を目指す

「ひとつは自分のやるべきことを明確にし、集中すること。勝ちたいという気持ちが強すぎても、不安が強すぎて集中を乱します。考えすぎると雑念につながる。目の前の一打、一球に集中すること。あとは「これだけやったのだから戦える」と思えるだけの練習、トレーニングを積むこと。超一流のプレイヤーと触れて圧倒される人がいますが、それは自分にはない技術が、それと背伸びをしているから。自分の武器を極めれば通用するということを忘れてはいけません。最後に、失敗はすぐ忘れ、今やるべきことを考えること。成功者は良い意味で図々しい。忘れる能力がある」
 どんなアスリートにも試練は訪れる。特にメンタルの不調は肉体的な衰えとは異なり、トレーニングだけで鍛えられるものではない。脱出のキツカケは人それぞれだが、復活を信じ続けるアスリートにしか、キツカケが訪れないのもまた事実だろう。
 （文中一部敬称略）